



なのみ通信

令和4年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 4月13日 第2号

子どもが創る学校

入学式の翌日、初めて自分で登校した1年生。1時間目には、6年生の子どもたちがそっと寄り添いながら学校を案内してくれました。



色とりどりの春の花が咲き誇り、野にも山にも春いっぱいになりました。4月11日(月)の入学式では、天気はどうなるか心配しましたが、雨も少しの間だけ待ってくれました。不安と期待を抱きながら入学してきた84名の新一年生。保護者の皆様のご期待の沿うようこれからの教育活動に努めていきます。

また、入学式に向けて、準備を一生懸命してくれた5・6年生に高学年としての自覚と責任を感じました。頼もしい子どもたちです。そして、翌日、一年生と一緒に登校する子どもたちや寄り添うように学校を案内する6年生に優しさを感じます。こんな子どもたちと共に学校を創っていきます。

傾聴と共感 「なのみ会話のあいうえお」

東小田小学校には、友達を大事にするすてきな言葉があります。その言葉が玄関前の廊下に掲示されています。

「なのみ 会話のあいうえお」です。

この「あいうえお」

は、「友達を大切にす

る。友達から大切にさ

れている。」といった

感覚を育て、互いに安

心できる関係につなが

るものだと思います。

この言葉、もちろん、

子どもたち同士の会話

だけではありません。

私たち「先生」も子ど

もたちとの会話でも大切

なことです。私

たちのまなざしや声かけが子どもたちの安心

感を生み、自分が大切にされているなといっ

なのみ 会話の あいうえお

あ あ 相手の目を見よう

い い 「いいね！」たくさんほめよう

う う 「うんうん」うなずいて聞こう

え え 笑顔になる言葉をつかおう

お お 終わりまで話を聞こう

た感覚を育んでいきます。このことが自尊心につながら、子どもの育ちの上ではとても大切なことになります。「今日は○○して楽しかった!」「そう○○して楽しかったんだね!」といった気持ちの繰り返し。子どもたちの話に耳を傾け、「うん うん」とうなずいて最後まで聴くことなど、「傾聴と共感」はとても大切だと言えます。そして、「ありがとう」は最高のほめ言葉とも言われています。誰かの役にたっているといった感覚も育んでいきたいものです。ご家庭でも「いいね!」「うん うん」「ありがとう」の言葉であふれるといいなと思います。